

各部局等における男女共同参画推進進捗状況一覧

部局等名	推進計画	進捗状況等																																																																																										
<p>文学部</p>	<p>本指針は、熊本大学男女共同参画推進基本計画（平成19年3月策定）の目標、方針に基づき、文学部における取組について今後の検討課題も含め定めるものである。指針の策定に当たっては、熊本大学男女共同参画推進基本計画の基本方針に沿うと同時に、国立大学法人熊本大学次世代育成支援行動計画（平成17年3月3日策定）などワーク・ライフ・バランスの視点も含め検討を行った。</p> <p>1. 男女の機会均等の実現</p> <p>①採用、昇進、給与、研修、OJTの機会の平等、積極的是正措置の導入等 ・教職員の募集に際して、積極的な広報を行い優秀な女性の応募数の増加を図る。文学では近年「人事を具体的にを行うにあたって特に考慮すべき事項」として「男女共同参画社会への動向を視野に入れる」こととしてきた。今後も教員公募にあたっては、大学の事例も参考にしながら、男女共同参画の視点を堅持していることを対外的にも明示するよう具体的な検討を行う。</p> <p>②学内外の女性教職員のネットワークづくりと参加の全学的取り組みを推進する。</p> <p>2. 男女共同参画の視点に立った制度・慣行の見直し、意識改革の推進</p> <p>①全学計画が掲げる取り組みに関して、参加・協力・促進する。 ②制度・運用の検証・見直しにあたっては、性別による委員指定など、女性教職員への職務配分の偏りが生じないように配慮する。</p> <p>3. 就労・就学と家庭生活との両立支援</p> <p>①全学計画に掲げられる取り組みを支持し、促進する。 ②熊本大学次世代育成支援行動計画の趣旨を踏まえ、ワーク・ライフ・バランスを保証する職場環境・雰囲気醸成に積極的に取り組む。 ③前項②の実現のために、新たな職務の付加にあたっては、人的手当またはスクラップ・アンド・ビルド等によって、学部全体並びに教職員一人当たりの適正な仕事量の維持に努める。 ④全学の「育児に係わる研究支援事業」が自然科学分野の女性研究者に限定されている点に関して、人文、社会科学分野、また男性研究者にも対象を広げるよう働きかける。</p> <p>4. 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大</p> <p>①幹部教職員の女性比率の向上、性別による偏見のない教職員の業績評価など全学的取り組みを支持し促進する。 ②学部長は、女性教職員との懇談の場を設けるなど、女性教職員の意見を学部運営に反映するよう努める。</p> <p>5. 男女共同参画を推進する教育・研究の充実 ジェンダー関連専門科目あるいは講義等を増やすよう努力する。</p> <p>6. ジェンダーの視点による学内の調査・分析、統計及び情報の提供</p> <p>①全学が行う男女共同参画推進に関する定期的な実態調査、情報提供、統計処理に協力し、学部単位での評価・見直しにも役立てる。 ②文学部における女性のロールモデルを紹介するとともに、学部紹介パンフレットやHP作成にあたってはジェンダーバランスに配慮する。</p> <p>7. 推進体制 熊本大学男女共同参画推進計画の規定に基づき、文学部男女共同参画推進委員会を設</p>	<p>(1) 文学部における取り組み指針の策定 文学部では、熊本大学男女共同参画推進基本計画（平成19年3月策定）の目標と方針とに基づき、男女共同参画推進に取り組んでいる。平成28年4月1日現在の進捗状況について報告する。</p> <p>(2) 女性教員の割合 現在教授会構成員60名の内、女性は9名である（約15%）。9名の内訳は、教授4名、准教授4名、講師1名になっているものの、女性教員は文学部を構成する4学科のうち、3学科にそれぞれ2名以上ずつ在籍している。文学部では平成26年度10月18日教授会で、「女性教員の割合を、2015年度までに15%以上にすることを目指す」という方針の承認を得て、現在この数値を達成している。</p> <table border="1" data-bbox="1507 548 2754 856"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">教授</th> <th colspan="2">准教授</th> <th colspan="2">講師</th> <th colspan="3">計</th> </tr> <tr> <th>男</th> <th>女</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26年 9月 1日現在(女性教員比率12%)</td> <td>29</td> <td>3</td> <td>24</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>54</td> <td>8</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>H27年10月 1日現在(女性教員比率13%)</td> <td>25</td> <td>4</td> <td>26</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>52</td> <td>8</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>H28年 4月 1日現在(女性教員比率15%)</td> <td>23</td> <td>4</td> <td>27</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>51</td> <td>9</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 「教員の公募」依頼文 人事については、平成21年度は講師の女性教員の准教授への昇任を行っている。なお、平成25年度公募(平成26年4月1日採用)においては新規採用4件のうち2件で女性教員を採用し、平成27年度公募(平成28年4月1日採用)においては新規採用2件のうち1件で女性教員を採用した。また、公募依頼文に次の文章を加えた。（資料1）</p> <p>①「7. 提出書類 ①履歴書：男女を問わず、出産、育児、介護に専念（あるいは従事）した期間について考慮することを希望される場合は、付記してください。」 ②「12. 問い合わせ先 熊本大学は男女共同参画を推進しています。[...]選考にあたっては、男女共同参画社会基本法の精神に則り、適正に行います。」</p> <p>(4) 男女共同参画の視点に立った教育内容の充実と就学環境の整備 文学部の専門科目の中では、男女共同参画を扱う授業も開講され、平成25年度から平成27年度までの開講科目数は年々増えている。平成27年度には「ジェンダー入門」を開講し、受講者は72名であった。授業内容の一部がジェンダーに関連する授業については以下のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="1673 1339 2665 1875"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>開講科目</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">平成25年度</td> <td>21世紀市民学入門</td> <td>171</td> </tr> <tr> <td>教育学概論II</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>日本文学概論I</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>世界システム史講読D</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">平成26年度</td> <td>21世紀市民学入門</td> <td>187</td> </tr> <tr> <td>教育学概論II</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>日本文学概論I</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>社会学概論II</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>世界システム史講読D</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">平成27年度</td> <td>世界システム史演習E</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>世界システム史特殊講義E</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>21世紀市民学入門</td> <td>163</td> </tr> <tr> <td>教育学概論II</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>コミュニケーション情報学入門</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>日本文学概論I</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>世界システム史演習D</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>世界システム史講読D</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>		教授		准教授		講師		計			男	女	男	女	男	女	男	女	計	H26年 9月 1日現在(女性教員比率12%)	29	3	24	4	1	1	54	8	62	H27年10月 1日現在(女性教員比率13%)	25	4	26	3	1	1	52	8	60	H28年 4月 1日現在(女性教員比率15%)	23	4	27	4	1	1	51	9	60	年度	開講科目	受講者数	平成25年度	21世紀市民学入門	171	教育学概論II	46	日本文学概論I	27	世界システム史講読D	10	平成26年度	21世紀市民学入門	187	教育学概論II	40	日本文学概論I	55	社会学概論II	50	世界システム史講読D	7	平成27年度	世界システム史演習E	10	世界システム史特殊講義E	28	21世紀市民学入門	163	教育学概論II	50	コミュニケーション情報学入門	43	日本文学概論I	55		世界システム史演習D	21	世界システム史講読D	12
	教授			准教授		講師		計																																																																																				
	男	女	男	女	男	女	男	女	計																																																																																			
H26年 9月 1日現在(女性教員比率12%)	29	3	24	4	1	1	54	8	62																																																																																			
H27年10月 1日現在(女性教員比率13%)	25	4	26	3	1	1	52	8	60																																																																																			
H28年 4月 1日現在(女性教員比率15%)	23	4	27	4	1	1	51	9	60																																																																																			
年度	開講科目	受講者数																																																																																										
平成25年度	21世紀市民学入門	171																																																																																										
	教育学概論II	46																																																																																										
	日本文学概論I	27																																																																																										
	世界システム史講読D	10																																																																																										
平成26年度	21世紀市民学入門	187																																																																																										
	教育学概論II	40																																																																																										
	日本文学概論I	55																																																																																										
	社会学概論II	50																																																																																										
	世界システム史講読D	7																																																																																										
平成27年度	世界システム史演習E	10																																																																																										
	世界システム史特殊講義E	28																																																																																										
	21世紀市民学入門	163																																																																																										
	教育学概論II	50																																																																																										
	コミュニケーション情報学入門	43																																																																																										
	日本文学概論I	55																																																																																										
	世界システム史演習D	21																																																																																										
	世界システム史講読D	12																																																																																										

<p>文学部</p>	<p>置し、計画・推進の進捗状況を点検・評価し、必要な対応を行う。</p> <p>8. 指針の目標期間 全学の「第1期熊本大学男女共同参画推進基本計画」に合わせ、本指針の目標期間を平成28年度のみとする。なお中間評価についても全学の計画に合わせて実施する。</p>	<p>(5) 男女共同参画の視点に立った就労と家庭生活との両立支援 平成26年度に育児中の教員から「保育所への送迎のために車両入構証を取得したいが、通勤距離が3km以内であるため申請できない。男女共同参画推進の観点から特別に認可してもらえないだろうか。」という相談が所属学科長を通して委員にあった。このことを学長及び全学委員会委員長から、速やかに環境委員会に提案していただき、同委員会において下記の決定がなされ、育児中の教員が働きやすい環境が整備されている。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p style="text-align: center;">男女共同参画推進に伴う入構証発行に関する特別措置</p> <p>(特別措置の内容) 職員等は、通勤距離により、車の入構が制限されているが、男女共同参画の推進のため、希望があれば、保育園等の送り迎えの場合、駐車場への入構を許可する。</p> <p>(特別措置の条件) 在園証明書その他の在園を証明することができる書類を提出すること。</p> <p>資料1</p> <p style="text-align: right;">平成27年6月29日</p> <p style="text-align: center;">関係教育研究機関の長 殿</p> <p style="text-align: right;">熊本大学文学部長 水元 豊文（公印省略）</p> <p style="text-align: center;">教員の公募について（依頼）</p> <p>このたび、本学部では下記により教員の公募をいたしますので、貴機関関係各位に周知方よろしくお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 募集職名・人員 准教授又は講師 1名</li> <li>2. 所属 熊本大学文学部総合人間学科</li> <li>3. 研究分野 環境地理学（広く自然環境と人間との関わりを地理学の立場から教育研究できる方。とくにフィールドワークに基づく実証的な研究に取り組んでいる方）</li> <li>4. 担当授業等 文学部、大学院社会文化科学研究科および教養教育における地理学に関連する科目（自然地理学Ⅰ・Ⅱ、地理調査実習Ⅰ・Ⅱ、等）・博士論文を含む論文指導</li> <li>5. 採用予定日 平成28年4月1日</li> <li>6. 応募資格 <ul style="list-style-type: none"> <li>・博士の学位を取得済み又はそれに準ずる方</li> <li>・自然地理学的内容を含む講義を担当可能な方</li> <li>・GISを利用した教育を行うことができる方</li> <li>・地域と連携した教育研究活動に意欲的に取り組むことができる方</li> </ul> </li> <li>7. 提出書類（以下の①～⑤はいずれも様式を問いません。） <ul style="list-style-type: none"> <li>①履歴書（顔写真貼付、連絡先住所・電話・e-mail アドレスを含み、学歴と教育歴はそれぞれ分けて記載して下さい。）原本一部 男女を問わず、出産、育児、介護に専念（あるいは従事）した経歴について考慮することを希望される場合は、付記してください。</li> <li>②論文等業績リスト（全業績について題目・発表年月日・掲載誌名・巻号数・頁数・単著共著の別・査読の有無等を記載し、主論文とすべき1篇に◎印、副論文とすべき1篇に○印を付けてください。学位論文は、主論文・副論文から外してください。分担執筆等の業績の場合は、担当内容を明示してください。）原本一部</li> <li>③主要業績2篇の別刷（コピーも可）と概要（各1000字以内）各6部</li> <li>④これまでの研究・教育等の活動の概要（2000字以内）6部</li> <li>⑤採用後の研究・教育等の活動計画の概要（2000字以内）6部</li> </ul> </li> <li>8. 提出方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易書留又は宅配便で一括郵送</li> <li>・封筒等に「地理学教員公募書類在中」と朱書き （提出書類は返却しません。但し、著書は希望があれば返却します。）</li> </ul> </li> <li>9. 提出先 〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-40-1 熊本大学文学部長</li> <li>10. 提出期限 平成27年9月4日（金）午後5時（必着）</li> <li>11. 選考等 書類選考 なお、面接選考を行う場合、場所・時間等の詳細は、別途お知らせします。模擬授業をお願い</li> </ol>
------------	--	---

<p>文学部</p>		<p>いすることがあります。  (面接に当たり必要となる旅費・滞在費等の経費はすべて応募者の負担となります。)</p> <p>12. 問合せ先 雇用条件： 熊本大学人文社会科学系事務ユニット総務担当  TEL (096)342-2320  e-mail : jsj-somu@jimu.kumamoto-u.ac.jp  専門分野等： 熊本大学文学部総合人間学科 (地理学)</p> <p>熊本大学は男女共同参画を推進しています。(詳細はホームページをご覧ください。<a href="http://gender.kumamoto-u.ac.jp/">http://gender.kumamoto-u.ac.jp/</a>)  選考にあたっては、男女共同参画社会基本法の精神に則り、適正に行います。</p>
------------	--	--